

第5次松前町総合計画を審査!



- ・まちづくりに参画、協働するための共通目標 ➡ **町民**
- ・まちづくりを進めるための経営指針 ➡ **町行政**
- ・必要な施策を要請していくための町の主張 ➡ **国、県、周辺市町**

3月定例議会初日に議長を除く議員13名で第5次松前町総合計画審査特別委員会を設置し、4日目に計画全体を審査し、実施に向けて意見提言をした。
今回の議案は松前町議会基本条例第17条第1号の規定により議決を求めるものである。

第4次総合計画の総括から次の10年間の計画は

問 計画期間が10年と長い理由は。

答 まちづくりの大きな方向性を示すもので、この方針に基づき毎年実施計画を立て事業をし、社会情勢等の変化により見直しを行う場合もあるのだ。

西村委員

問 総合計画と、まち・ひと・しごと創生総合戦略との兼合いは。

答 総合戦略は人口減少を抑えるための計画であり、まちづくりの方向性を示す総合計画は必要。

曾我部委員

問 総合戦略だけで十分では。

答 総合戦略は人口増の目的に特化している部分が多いし、今年度が最終年となるため見直しをしている。

曾我部委員

問 10年後の人口目標を設定する基礎資料の数値が平成27年国勢調査

の資料を使用している。直近の人口動態を活用し、最新の情報に基づき現実的かつ合理的な目標とするべきでは。

田中委員

問 住民基本台帳の人口もあるが、実際に松前町に住んでいる人数を基準とする国勢調査を利用している。

答 平成30年度から情報収集、内容の内部協議、アンケート収集、ワークショップの開催数など詰めていった。

田中委員

意見

第4次総合計画の評価、整理を先にして色々な場面でPDC Aを活用してほしい。

曾我部委員

土地利用構想図



問 基本構想の土地利用の考え方は。

答 庁内と有識者を含めて検討を行う予定。都市計画マスタープランの更新も必要であれば検討していきたい。

渡部・住田委員

問 主要施策の「検討する」「努めます」などでは表現が弱いのでは。

答 言葉の使い方であり消極的な意味合いではない。

曾我部委員

意見

人口増のためにも田園住宅地ゾーンを住宅市街地ゾーンに変更することや、北黒田海岸部、新貨物駅周辺、JR予讃線や伊予鉄道各駅周辺の土地の有効利用について検討の必要がある。

伊賀上委員

問 第4次の期間中には都市公園の整備がないためE判定だ。今後10年内に公園整備もあり得るので主要施策としている。

答 主要施策名と内容が合っていないものもあるが変更は。

問 主要施策名に内容の全てを含んで表記しているのに変更しない。

答 第4次総合計画は自己採点しているが、第5次は何点ぐらいを合格と考えるのか。

曾我部委員

問 外部評価の導入も検討しているが、60点は越えたい。

答 以上のような審査を行わない採決の結果、賛成多数で原案の通り可決した。

村井委員

問 第4次総合計画総括報告書の主要施策である「水と緑に関する指針」の策定がE判定だ。

答 今後のまちづくりを考えた結果として5章編成となった。引き続き実施すべきものとしての施策数である。

藤岡委員

残された課題は「特になし」となっているが第5次の取り組みは。

田中委員

